

## 令和2年度鹿児島学習定着度調査の結果について

今年度の調査が、小学校5年生及び中学校1・2年生を対象に令和3年1月13・14日に実施されました。つきましては、県及び大隅地区、本町の通過率の平均についてお知らせいたします。

〈調査結果一覧表〉

	小学校5年生			中学校1年生			中学校2年生		
	町平均	地区平均	県平均	町平均	地区平均	県平均	町平均	地区平均	県平均
国語	80.1	73.8	75.0	74.6	76.9	78.7	75.3	76.5	76.7
社会	76.2	74.4	75.5	59.2	61.2	64.4	72.5	64.0	67.7
算数・数学	71.5	68.6	69.4	71.6	73.8	74.9	72.8	63.5	67.1
理科	76.7	73.3	74.9	71.2	68.5	70.4	73.2	70.0	70.9
英語				69.6	65.6	68.1	61.7	54.5	57.8

※一覧表の「平均」の数字は平均通過率(%)を表します。

※通過率とは、設問の解答が正答・準正答であった場合、「通過」とし、通過した児童生徒の割合をその集団における通過率といいます。

### 学校における授業改善、家庭における学習の見届けでさらなる学力向上!

〈調査結果考察〉

県平均を超えていたのは、小学校5年生の全4教科、中学校1年生の2教科(理科・英語)、中学校2年生の4教科(社会・数学・理科・英語)でした。

問題別にみると、出題率が高い内容でも、県や地区の平均を下回る問題がありました。課題を明確にして、どうしてそうなるのか考える学習の工夫をしたり、繰り返し練習をしたりして、「わかる」「できる」喜びや楽しさを実感する学習の充実が大切になってきます。

教育委員会では、子供たちの「なぜ」「どうして」を大切にする授業の工夫・改善と繰り返し練習を行う取組の推進を図っていきます。各家庭では、子供たちが集中して学習に取り組む環境を整えていただき、発達の段階に応じた見届けへの御協力をお願いします。

## 大崎町 GIGA スクール構想の実現へ

～令和時代のスタンダードな学習環境づくりを目指して～

大崎町教育委員会

これからの社会で活躍できる資質・能力を育成する

それぞれの成長に合わせて、資質・能力が一層確実に育成できるICT教育環境を実現する。

### 家庭教育

- 学習ドリルの活用
- 臨時休業時にWeb会議を活用した授業

※各家庭において、WiFi環境が必要になります。



### 学校教育

#### タブレット端末の活用

- 絵や写真の提示や画面への書き込みで、より分かりやすい説明が可能になります。
- 音声や動きを記録・再生し、自分の成長を理解しやすくなります。



#### 電子黒板の活用

- 絵や写真の提示や画面への書き込みで、より分かりやすい説明が可能になります。

#### 業務改善 (子どもたちに向き合うための時間の確保)

- 校務支援ソフト
- Web会議システム